

No.1 岡崎ボードゲーム会

事業名 ワークショップ開催

活動目的は何ですか

交流を創出するだけにとどまらず、ボードゲームを通じて、社会的な学びと擬似的な体験（防災、SDGS、多様化社会等）を提供できるようにする。

補助を受けて行った事業を完結に教えてください。

ボードゲーム購入

地元発信ボードゲームのワークショップ

障害者向けボードゲームのワークショップ

防災ボードゲームのワークショップ

補助金を受けて事業を行ったことで、そのサービスを受けた相手や市、市民に対してどのような効果がありましたか。

幅広い年代の参加者が一緒に遊ぶことが可能になり、交流が深められた。ボードゲームを遊びながら、社会的な学びを提供できた。

今回の補助事業を通して、団体として今後の活動にどのように繋がっていきたいですか。

ボードゲームを通じて、これまで以上に多くの人との関わりを創出していきたい。



No.2 自然観察の里を守る会

事業名 里山保全事業

活動目的は何ですか

本会は山あいの耕作をやめてしまった荒れた旧水田エリアをかつての里山のような自然豊かなエリアとするために、整備活動を続けている。
大切なエリアを守っていくことを目的としている。

補助を受けて行った事業を完結に教えてください。

毎週土曜日に会員が集まり里山の保全活動（草刈り、泥上げ、水まわしなど、浅瀬の水辺を維持する活動）を行った。
また、ボランティアを受け入れたり、子どもたちを対象とした6月のホタル鑑賞会、7月の昆虫教室、8月のポンツク大会を開催した。

補助金を受けて事業を行ったことで、そのサービスを受けた相手や市、市民に対してどのような効果がありましたか。

補助金を受けて里山の保全活動に必要な道具（備中、胴長、ノコギリ）や消耗品（混合油、草刈機の替刃、ノコギリの替刃等）を買うことができ、里山を保全することができた。
また、ボランティアや子どもたちにイベントを通じて里山の大切さを伝えることができた。

今回の補助事業を通して、団体として今後の活動にどのように繋がっていきたいですか。

補助金を受けて里山の保全活動を続けているが、活動資金をどう確保するか、大切な里山の自然を守ってくれる人達をどのように増やすか、素晴らしい二次的自然をPR材料として、この活動を広めていきたいと考えている。



No.3 「岩津松平氏輝きの600年」推進懇話会

事業名 岩津城跡整備と維持

活動目的は何ですか

岩津のシンボルである岩津城跡の整備を通じて岩津松平氏等の歴史的価値を広めると共に岩津の街づくり、地域づくりに反映させたい。

補助を受けて行った事業を完結に教えてください。

役員による岩津城跡の整備作業は月2回、ボランティア活動による整備作業は月1回実施しています。また、岩津中学校3年生のボランティア活動年1回、岩津小学校への出張授業は年1回行っています。それと岩津松平氏講座を年1回行っております。岩津城跡に部位表示板の設置をして歴史的文化財として整備しました。

補助金を受けて事業を行ったことで、そのサービスを受けた相手や市、市民に対してどのような効果がありましたか。

密集した竹・木を伐採したことにより、城跡が明るくなり、城肌も整備されました。部位表示板も設置し歴史的文化財としての環境も整いましたことにより散策にこられる方も増えました。

今回の補助事業を通して、団体として今後の活動にどのように繋がっていきたいですか。

歴史的価値を高めるため、城跡の整備と維持管理に努めます。地元にもつわる歴史的価値ある事柄を採り上げ講座を開いたり、または回覧板を回したり、チラシを配布して情報の発信を行い岩津城跡の価値を高めます。



No.4 桜の郷の会

事業名 桜並木の景観管理、次世代への継承事業

活動目的は何ですか

桜の郷の会では、970m北本郷地域鹿乗川導水路側60本荘川桜植樹桜並木遊歩道にて住民との交流。

河川の美化会員住民での子ども、孫に故郷を思い次世代に繋げ活性化が生まれる。

補助を受けて行った事業を完結に教えてください。

鹿乗川導水路側970m草刈り2回、除草剤散布2回、矢作中学校生徒25人先生4人町内会役員4人会員8人による合同作業。

補助金を受けて事業を行ったことで、そのサービスを受けた相手や市、市民に対してどのような効果がありましたか。

補助金を受けることにより桜木の維持管理として過去3回お花見開催行い、交流が生まれ、地域の活性化が生まれた。

今回の補助事業を通して、団体として今後の活動にどのように繋がっていきたいですか。

岡崎公園の桜、乙川の河津桜、北本郷の荘川桜市民に知っていただき名所になって交流が生まれるといいです。



No.5 岡崎をスポーツで盛り上げる会

事業名

スポーツを通じた市内在住/留学生等外国人との交流促進事業

活動目的は何ですか

岡崎市の他事業にて行われた高度外国人材等調査業務のアンケート結果として、今後想定される「労働力不足」の補完策として、外国人の市内就労・定住拡大が望まれ、その外国人の岡崎市への要望で「気軽にスポーツができる環境があると良い」という意見があり、「外国人にとって住みやすい街・岡崎」の街づくりの一助として事業を行い、外国人には市民と交流を持ちスポーツを通じて「岡崎」を好きになってもらうため。

補助を受けて行った事業を完結に教えてください。

留学生を中心とした外国人の方へスポーツの観戦と、スポーツを行いたい外国人の方へ市内でスポーツ活動を行っているチーム紹介を実施。

- ・岡崎市内で行われるプロスポーツ（バレーボールやサッカー）の観戦チケットを各プロチームからご提供いただき、お申し込みがあった外国人の方たちをご招待。
- ・母国で行っていたスポーツをやりたい留学生へ、市内で外国人を受け入れてくれるチームを紹介。

補助金を受けて事業を行ったことで、そのサービスを受けた相手や市、市民に対してどのような効果がありましたか。

まだ日本に慣れていない外国人にとって、母国で良く観戦もしくはプレイしていたスポーツを日本でも観戦・プレイできたことは、不慣れな外国での生活のストレス解消と同じスポーツを好きな日本人との交流が出来たことで、より日本や岡崎を好きになってもらえたと思う。市民としても知らない外国人から一緒にスポーツを楽しむ仲間として見てもらえたと思います。

今回の補助事業を通して、団体として今後の活動にどのように繋がっていきたいですか。

岡崎市に住む同じ市民として、多くの外国人の方がスポーツを通じて日本人と交流してもらいたい為、外国人を受け入れてくれるチームを増やし、地元プロスポーツチームとも交流できる機会を作っていききたい。



No.6 岡崎市少年少女発明クラブ

事業名 発想を育む・もの作り体感講座

活動目的は何ですか

成長期にある子どもは、本来体験的に学ぶことを欲するものであり、個々の事例の体験を通して一般化が図られ、抽象的な思索も活性化されることが知られている。故に本活動は科学的思考を伴った「ものづくり活動」を通して、次代を担う児童、生徒が科学技術に関する興味、関心を高め、科学的で独創的な発想に基づく発明工夫の楽しさと創作する喜びを味わい、自己肯定感を備えた創造性豊かな人間形成を図ることを目的とする。

補助を受けて行った事業を完結に教えてください。

6月度：雨の6月を楽しもう 飛び出せヘリコプター

10月度：材木を切るぞー！知ってることとやれることの違いを感じよう

11月度：機織機を作ろう！こんな物でも布を作れるんだよー！

12月度：からくり人形を作ろう！デザインは？自分たちで考えよう！

令和7年/1月度：ドキドキ棒を作ろう！各自の折れ曲がった線を触らない様にゴール！

2月度：テーマ変更があり、2足歩行ロボットをリンク機構で歩かせよう！

3月度：ゴムワンプランプリ三個の輪ゴムで8メートル誰が速く走り1等??

注) 8月度と9月度は、創意くふう展に向けての活動となり、本事業とは別となります。

補助金を受けて事業を行ったことで、そのサービスを受けた相手や市、市民に対してどのような効果がありましたか。

生活や機能性をより良くすることを念頭に入れて講座を考案し、作り上げる活動なので、自己統制を促し、観察力、工夫力、構成力、論理的思考力、巧緻性が高まる。また、科学技術的素養を身に付けると共に、科学技術の人間生活への貢献・役割の理解が図れる。

思考、推理の確認行為としてのものづくりであるため、自身の考えの正しさを実感できるので、自己肯定感を育み、生産活動、社会活動に対する理解・関心が高まる。

今回の補助事業を通して、団体として今後の活動にどのように繋がっていきたいですか。

昨今の物価高で材料費の値上がりが運営に影響してまいりました。年会費は、6千円（内訳、毎月の講座材料費負担を500円×12ヶ月分）として、行っております。実際の講座費用は、一人800～1000円/月で行っており、その財源は発明協会や地域の協賛団体様の寄付金で埋め合わせを行っております。クラブ内の預金取り崩しもあり、年会費の値上げを考えましたが、この助成金が、申請できることを知り、三年の三回ではありますが補助金を手助けに、その期間に協賛先の拡充などの足がかりに成ればと思っております。

